

＜支援項目チェックリスト：第3,4週＞

【第3、第4週のめあて】

1. 子どもの様々な疑問や質問に答える。

2. 担任は教室移動などに配慮する。

(初めのうちは、周りの児童がお手伝いをしてくれます。しかし、周りも本人も慣れてくると、トイレから帰ってきたら教室移動で誰もいなかったなどということがあります。少しの心配りで、児童は安心して学校生活を送ることができます。)

第3、第4週	
担任・国際教室担当教員・教育相談員	登録バイリンガル
<p><input type="checkbox"/> 日記指導(母語)</p> <ul style="list-style-type: none"> 母語で書いた日記をバイリンガルに翻訳してもらおう。 	<p><input type="checkbox"/> 日記指導(母語)</p> <ul style="list-style-type: none"> 母語で気持ちを表現させ、心的安定を図ると同時に、気になる記述や情報を担任に報告する。
<p><input type="checkbox"/> 体調不良を伝える表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 「お腹が痛い」「気持ちが悪い」などの体調不良を伝える表現を教える。 	<p><input type="checkbox"/> 体調不良を伝える表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 体調不良を伝える表現を教える。
<p><input type="checkbox"/> 教科学習の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 少しずつ在籍学級の学習に参加させる。 	<p><input type="checkbox"/> 教科学習の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 担任の通訳をする。 未習、既習項目を確認しながら、教科学習を支援する。
<p><input type="checkbox"/> 学校生活での自立支援</p>	<p><input type="checkbox"/> 学校生活での自立支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 時間割を見て、教科書や教具を揃えられるように支援する。

＜授業の入り込みについて＞

- 授業のすべての内容を通訳して理解させることは、非常に困難です。また、日本と児童の母国では教育カリキュラムや学び方が異なり、未習項目も多くあります。学習内容については無理をすることなく、できる範囲で通訳、翻訳をしてください。
- 母語での簡単な挨拶や母国の学校についての話を、たくさん聞いてあげるようにしてください。
- 子どもが自分でできることは、自分でさせるようにしてください。